



探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team



令和3年
7月8日
(木)
No.3

○第1回研究推進協議会～探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業～

7月5日(月)には、広島県教育委員会 義務教育指導課 小坂弘尚 指導主事と、東広島市教育委員会 指導課 花岡拓也 指導主事に来校していただき、第1回研究推進協議会を行いました。5校時の授業をFITのメンバーと参観をして、今後の研究について指導助言をいただきました。1クラス5分程度という短い参観でしたが、小坂指導主事より「学校や児童生徒の様子」について感想をいただきました。



- ・子供たちはまじめに授業に取り組んでいて、先生たちの言葉掛けや行動に対して真摯に反応している。
- ・短い参観時間の中でも、学年に応じて力をつけ、高まっている様子がうかがえる。
- ・開校して3か月しか経っていないが、子供たちは落ち着いて授業を受けている。→先生方の努力の成果です。Good!
- ・友達の発言に対して、体を向けたりうなずいたりして反応している。これは探究的な学習に大切な要素であり、福富小中学校では、その土壌が培われている。これからも大切にしてください。
- ・電子黒板を多くの授業で活用している。→次は生徒が探究の道具としてどう活用していくかが課題である。
- ・探究的な学習で大切な議論だが、小規模の学校では、一人の生徒の意見に引っ張られやすいという課題があることが多い。相手を認めたり、多様性を許容したりする力を育てていく必要がある。

○課題のテーマが決定！それぞれのグループで話し合っておいてください。



| | | | | |
|--------------|--------------|--------------------|---------------------|----------|
| 小1年生 小2年生 | 小3年生 小4年生 | 小5年生 小6年生 | 中1年生 中2年生 | 中3年生 |
| 学校 道の駅 | 自然・農業 ・里山 | 福富で 活躍して いる人 | 福富の魅力 を外部へ 発信 | 福富 提言 |

上記のテーマで、探究的な学習を行っていかうと考えています。7月12日(月)には花岡指導主事に来校していただき、単元の作り方について教えていただきます。その後、各グループで単元計画を作成していただくのですが、8月6日(金)を〆切と考えています。(あんまり時間がない!)できるだけ、FIT通信2号に掲載している児童生徒の実態を見ながら、単元についてのイメージを膨らませておいてください。そうしていただくとスムーズに話が進むと思います。

○単元との出会わせ方、要所での刺激～探究的な学習で留意すべきこと～

探究的な学習で多くの人が難しさを感じているポイントが、児童生徒と単元の出会わせ方をどうするかという点です。鍵になるのは、児童生徒がその単元を「自分ごと」にできるかどうかです。つまり、その単元が「児童生徒にとって、解決したい課題かどうか」ということになります。課題自体が魅力的

な場合には、多少強引でも問題はありません。しかし、児童生徒にとって興味関心の薄い課題の場合、単元との出会わせ方には工夫が必要だと考えられます。児童生徒が単元を「自分ごと」としてとらえることができるような準備(地域人材の活用、実物の提示、その単元に誇りがもてるような情報など)が必要になります。

もうひとつ留意すべきことがあります。それは、単元との出会わせ方が上手くいって、探究的な学習がスムーズにスタートしても、児童生徒の課題解決に対する意欲は徐々に低下していくということです。充実した学習にしていくためには、要所での刺激が必要になります。例えば、教科と連携して学習内容を深めたり、地域の人材を活用したりして、定期的に児童生徒のやる気を引き出す工夫が必要になるということです。単元計画の作成時には、意識して作成してみてください。



○ルーブリックの作成～子供たちの具体的な姿で表現する～

FIT通信の1号でお知らせしたとおり、研究内容の一つとして、「育成を目指す資質・能力を評価するためのルーブリックを開発する。」というものがあります。探究的な学習として育成したい能力は「自己の生き方を考える力(協働性・主体性)」です。(※ただし、総合的な学習の時間として行うので、評価の3観点との関係を明確にしておく必要があります。)現段階では、A、B、Cの3段階評価にしようと考えています。違いを分かりやすくするために、基本文をあまり変えずに、変わった場所にアンダーラインを引くなどの工夫を行おうと考えています。例えば、以下ようになります。

| A 評価 | B 評価 |
|---|------------------|
| 地域の歴史から学んだことと、 <u>現在の地域の様子とのつながり</u> を理解している。 | 地域の歴史について理解している。 |

違いが一目瞭然ですね。学年によって適切な評価になるよう、みんなで考えていきましょう!

これからの予定

- 7月9日(金) 13:00~16:30 朝倉教頭、飯垣、岡 第2回探求的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会【オンライン研修】
- 7月12日(月) 15:00-16:30 単元の作り方(全体)
- 8月5日(木) 全員参加、終日 ドリームマップ作製(ワークショップ)
- ※8月6日(金) 単元計画作成〆切
- 8月17日(火) 9:00-16:30 東広島市教育委員会 花岡指導主事来校 年間指導計画の検討(グループ・学年別)
- 8月25日(水)~27日(金) 3日とも終日 FIT+α(できるだけ他教員も参加) 理論研修
- 9月13日(月) FITのみ 授業参観有り 第2回研究推進協議会 西部教育事務所 宮田指導主事来校 東広島市教育委員会 花岡指導主事来校

先達の言葉

正直に自分の無知を認めることが

大切だ。そうすれば、必ず

熱心に教えてくれる人が現れる。

ウォルト・ディズニー(ディズニー社創業者)

新しいことを作り上げるので、一人では分からないことがたくさんあります。お互いがもっている知識や経験を出し合ってより良いものを作り上げていく必要があります。分からないときには恥ずかしがらず声を上げて、どんどん協力・連携していきましょう!